



船橋市議会議員（市民共生の会）

浦田秀夫通信

自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL・FAX 047- 466-6019

事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL・FAX 047- 461-1350

号外（2018年5月） メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ浦田秀夫で検索

子供を核とした街づくり 明石市を視察

子どもを核とした街づくりを市長の強力なリーダーシップで進め、人口増や税収増を実現した兵庫県明石市を、会派「市民共生の会」として、4月12日～13日に視察しました。

現在2期目の泉房穂（いずみふさお）市長がまず手がけたことは、69票差で当選した1期目の直後、明石駅前の一等地に計画されていた再開発ビルの当初計画を大幅に見直し、ここに市民図書館、親子交流スペース、子育て支援センター、中高生交流スペースなどからなる「パピオあかし」を建設したことです。

駅前の一等地は市役所のためではなく、子どものため、市民のために使うべきとの思いからでした。

その後、中学生までの医療費無償化、保育料の第2子以降の無料化、市営施設の無料化などを所得制限なしで実現しました。

また、独自の施策として、離婚後の親子の面会交流や子どもの養育費の取り決めの支援、無戸籍児への支援などを行っています。

市独自に保健所の開設へ

明石市は今年4月1日に中核市に移行しましたが、児童相談所が来年春に開設されます。児童相談所だけでなく一時保護施設や養護施設の整備、里親づくりの取り組みなど総合的に子どもと家族を支えるとのことでした。

また、これに合わせて28の小学校区に市が支援して「子ども食堂」を開く予定です。



（写真中央が泉明石市長）

財源は土木費などの削減

これらの財源は、公共事業や土木費、職員数の削減、給与の4%削減などで予算を捻出しているとのことでした。

船橋市との一番の違いは市長の本気度、すべての子どもを応援する熱い思いの差にあると感じました。私たちの視察に対し、市長自らがその熱い思いを語っていただきました。

市民生活相談所

お困りのことがあれば何でもお気軽にご相談ください。

生活のことや、医療・介護、子育て、教育、地域の問題などご相談に応じます。

法律や税金、消費者問題などについては専門家や機関にとり継ぎます。

毎週、月・水・金の午後1時から4時まで事務所で伺っています。

ご相談がある場合は事前にご連絡ください。



指定管理者制度で

コスト削減はなし

4月25日、総務委員会が開催され、行財政改革推進会議がとりまとめた「市の行財政改革について」意見書と、市の総合計画の策定についてヒヤリングを行いました。



行財政改革推進会議の意見書では、歳入の確保や業務改革と歳出の見直しなど28の提言が述べられています。

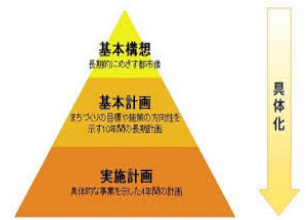
この中で、指定管理者制度について、平成28年度の中核市の平均導入率が48.9%であるのに対し、船橋市は9.9%で他市に比べ導入が大幅に遅れていると指摘し、積極的な導入が必要であると提言しています。

しかし、船橋市の「臨時・非常勤職員数の割合」は、中核市33市中3位でその割合は44%にも達しています。

公の施設の管理運営を他市では指定管理者が臨時・非常勤職員で行っていますが、船橋市では市が臨時・非常勤職員を雇っているだけでのことで、働く人を安く使うという点では少しも変わりはなく、指定管理者制度を導入してもコスト的なメリットはないと指摘しました。

市の基本構想本当に必要

市の総合計画の内、基本構想（20年間）や基本計画（10年間）が平成32年度に終わることから、市は新たな基本構想や基本計画を策定するために今年度から策定作業を始めます。



しかし、そもそも策定する意義があるのかどうか疑問を呈しました。

今の市長が10年後、20年後の市の将来のあるべき姿を示しても市長が変わればその内容は変わるし、逆に将来の市長の足かせになるのではないかと。

市は、財政状況の変化を理由に、昨年4月発表し、市長が6月の選挙で公約した学校トイレ洋式化計画を1年も経たずに変更するようでは、計画は何の意味もないと指摘しました。

また、市は策定に当たっては、無作為で市民の意向を把握し、特に20年後の船橋市を担う若い人の意見を取り入れるとしています。ごみ収集回数の見直し問題では、作為的に市民の意向を作り出し、若い人の意見を無視していると厳しく指摘しました。

皆さんからのご意見・ご要望

浦田秀夫通信で市議会の内容を知りました。住民の生活に直結する内容がこの通信がなければ全く知らないままです。もっと積極的な周知をお願いします。(高根台、男性)

浦田秀夫通信 123号のお届け誠にありがとうございます。ただただ平凡な一介の船橋市民ながら貴紙のおかげで市政及び市づくりの課題、進捗状況を知り啓発されております。

(咲が丘、女性)

アンデルセン公園は有名となり、観光バスで来る人も大勢です。それなのに子どもから入園料を取る。これは無料でいいと思います。子どもの楽しみを大切にしてほしい。(松が丘、女性)

現在の年金ではどこの老人ホームにも入居できません。高齢な私は毎日が不安でなりません。私たちがのような者が入居できる老人ホームを建設してください。(習志野台、女性)

野球やサッカーができる様な公園でなくても、のんびりと安心して憩いの場所になる公園ができたらいいと思います。ベンチや樹木も増やしてほしい。(松が丘、女性)

お金は取りやすい所から取る。年寄りの年金から賛成、反対も聞かないまま国で決めて勝手に引き落として入金してくる。国会議員は自分の懐が痛まないから好き勝手をしている感じ、本当に住みづらい世の中になったものだと思って生きている。(高根台団地、男性)